



世界は誰かの仕事でできている

校長 風見由起夫

タイトルの言葉は、8年前放送された缶コーヒーの commercials のキャッチコピーです。仕事を終えて缶コーヒーを飲む人々を通して、社会を支えているたくさんの仕事が commercials で紹介されていました。このキャッチコピー、社会科の学習のねらいの一つだと強く感じています。

感染症対策の緩和もあり、12月になって3年生以上の学年が、借上げバスを利用して社会科見学に行ってきました。社会科見学は、座学やインターネットを使った調べ学習だけでは分からない、直接見聞きすることで知る大切な機会だと考えています。感染症対応のために、これまで受け入れてくれていた工場や施設が、入場制限や見学の一時見合わせを行っているため、まだまだ社会科見学が自由に計画できない部分もありますが、子どもたちは、教室を出てどのようなことに気づき、何を感じたのか大変興味が湧いてきます。

今年度の見学先です。

3年生：練馬区立ふるさと文化館 練馬区立防災学習センター

4年生：科学技術館 中央防波堤外側埋立処分場

5年生：明治なるほどファクトリー 川の博物館 ※1月31日の予定です

6年生：国会議事堂衆議院 国立科学博物館



さて、学校も多くの方々の働き、支えによってできています。大人だけではありません。最高学年の6年生を中心に子どもたちの活動に支えられています。高学年による委員会活動、学年活動のための実行委員、学級の係や当番、その一つ一つの活動が友達、仲間を支えています。本日、お渡しした通知表にも、その頑張りが記述されている子どもたちが大勢います。ぜひ、子どもたちの日々の頑張りを、たくさんほめてください。

また、本年度4月に着任し、多くの方々が大泉第三小学校を支えていただいていること、日々実感してまいりました。感染症という壁がここにも立ちほだかり、思うようにお会いすることはできませんでしたが、本校の教育活動に、ご理解、ご協力いただきましたこと大変感謝申し上げます。

冬季休業中は、昔からの年末年始の行事、慣習があります。「すす払い(大掃除)」「年越しそば」「除夜の鐘」「初日の出」「初夢」…。裏面に年末年始あれこれを一部掲載しました。子どもたちにその由来や意味を話しながら、ご家族で年末年始をごゆっくりお過ごしください。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

学校探検⑧ 【屋上(南校舎・北校舎)】

校歌の2番には、「はるかに富士も うかんでる」とあります。開校当初は大きな建物もなく、校庭からも富士山が見えたことでしょうか。今は、3階の教室から見るができます。そして、屋上からはよりしっかりと富士山を見ることができます。子どもたちは自由に利用することはできませんが、穏やかな日はとても気持ちの良い場所です。



〈行事予定〉

〈12月〉 23日(金) 2学期終業式 4時間授業(給食有) 26日(月) 冬季休業始 28日(水) 学校休務日 29日(木) 完全機械警備始 ※ <u>12/29~1/3は完全機械警備 とな</u> <u>り、校内には入れません。</u> <u>ご注意ください。</u>	〈1月〉 3日(火) 完全機械警備終 4日(水) 学校休務日 9日(月) 成人の日 10日(火) 始業式 安全指導 4時間授業(給食有) 11日(水) 書きぞめ大会(5・6年) 計測(1年) 避難訓練 12日(木) ユニセフ集会 書きぞめ大会(3・4年) 計測(2年・いちょう) 13日(金) 計測(3年) 14日(土) 土曜授業日 道徳授業地区公開講座
---	--

●道徳授業地区公開講座【1月14日(土)】

東京都では、「特別の教科道徳」の充実を目的として、道徳の公開授業を推進しています。本校では、すべての学級が道徳の授業を実施する日を1月の土曜授業日に設定しました。道徳授業以外の時間は、通常の土曜公開授業となります。また、今年度は、感染症対応のため、道徳にかかわる講演会は実施しません。

道徳の授業 2校時(9:20~10:05): 4・5・6年・いちょう
3校時(10:25~11:10): 1・2・3年

【年末年始あれこれ】

すす払い

正月を迎えるにあたって、家の内外の煤(すす)や塵(ちり)を払い、清掃する行事。煤掃きともいいます。平安時代にすでに行われていたといわれています。12月13日に行うようになったのは江戸時代から。江戸城は12月13日が煤払い日で、民間でも多くが13日を煤払いの日としていました。



年越しそば



大晦日に年越しそばを食べるようになったのは江戸時代からです。元々、江戸時代の商家では毎月30日(晦日・みそか)にそばを食べる習慣がありました。忙しい晦日は手早く簡単に食べられるようにということからだったようですが、それが大晦日に食べるものとして一般に広まったといわれています。始めはそば団子だったようですが、やがてそば切りを食べるようになりました。「そばのように細く長く長寿であるように」との願いが込められています。

そばはうどんなどと比べて切れやすいことから「一年の苦労や災いを断ち切る」という意味もあるようです。また、金細工の職人が作業場で散った金をそば粉の団子で取っていたことから、そばは金を集める=金運を願うという説もあるとか。

初夢

一般的に、正月の2日の夜に見る夢のこと(2日から3日の夜に見る夢との説もあります)。元々中国から伝わったもので、夢を食うといわれる猿の絵を枕の下に入れて吉夢をみようとしたという故事にあやかったものだそうです。



日本でも室町時代には、よい初夢が見られるように七福神を乗せた宝船の絵を枕の下に敷いたりしたそうです。「一富士、二鷹、三なすび」の夢を見ると縁起がいいとされたのは江戸時代になってから。どうして元日の夜ではなく2日の夜なのでしょう。昔は仕事始めや書き初め、年初めの行事が2日だったため、一年のスタートとして、2日に見る夢を重視したようです。